羽田空港浅場でワカメの自生を確認！

ワカメ（*Undaria pinnatifida*）平成 30 年 2 月 15 日採取

本協会で毎月実施している貝桁網調査で写真のような立派なワカメ 7 株を採取しました。全長は約 1.4～1.7m、幅は最大 25cm 程度で、メカブも形成していました。

採取場所は砂留堤 No.9～10 の間、離岸距離およそ 40～50m（右写真）のところで、水深は 2.5～3.0mでした。ワカメの付着器(根)はきれいに剥がされていましたが、付近一帯は過去に投石したところで、これらに着生していたものと推測されます。

協会では平成 18 年度まで水平延縄式や人工コンブによるワカメ藻場造成試験を行っており、一部水域で再発生の自生ワカメを数年間確認しています。現在でもこの水域に毎年自生すると聞いています。

今回採集された水域にはまだ自生していることが予測されます。良好な付着基盤の整備によって、自然再発生によるワカメの藻場造成が羽田浅場でも十分可能であることが考えられます。